



今年度は、校舎増築とともに、児童数 870 名でスタートしました。
学校は人の集まる場所です。子どもも大人も成長し、育っていく場所です。人は環境に影響を受けながら、人との関わりの中で育ちつつ自分で自分を創っていくものです。

小学校は、人間として成長していくための確かな根っこ（基礎基本）を育てるところです。たとえば言えば、植物の成長に必要な土壌です。土壌を柔らかく耕し、新しい空気を入れ、適当な水分や養分、温度があれば、植物はしっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせます。しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは「発達の当事者」であり、未来の大人として敬意をはらうべき存在です。

本校は、一人一人の子どもに発達の可能性を見出しながら、その子の根っこを太らせていく教育を追求します。「しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは『発達の当事者』であり、未来の大人として敬意を払うべき存在」という本校の子ども観を、今実践している教育活動を通して、子どもの姿に問い直しながら、地域にある学校としての使命を果たしていきます。